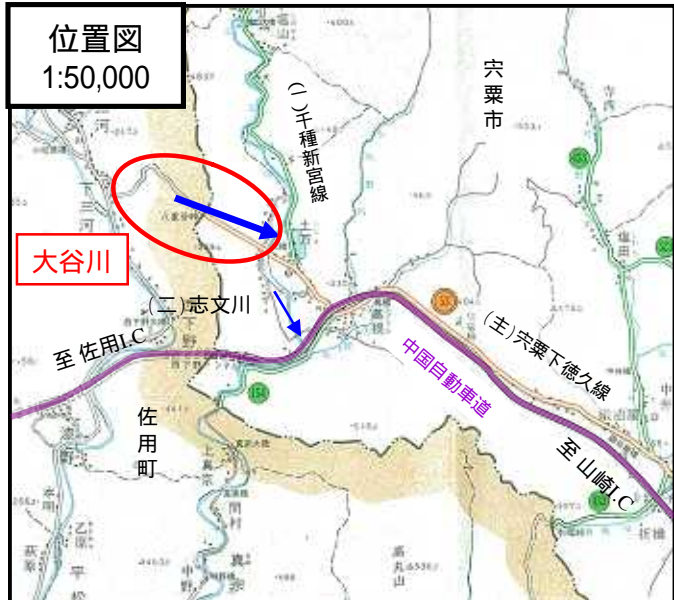
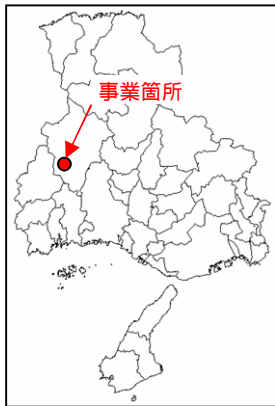


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5億円
		通常砂防事業 おおたに 大谷川	宍粟市山崎町 ひしま 土万	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟市山崎町土万				H22	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 3基 (H = 12.0m, L = 60.0m) (H = 7.0m, L = 50.0m) (H = 6.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)千種川水系志文川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床土砂は不安定化しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約6ha(長さ250m、最大幅400m程度)に及ぶ。 ・人家15戸、(二)志文川、市道(約500m)、集会所(避難所)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・周辺道路の利用については理解が得られやすく、工事用道路の確保が容易であるなど、事業執行環境は整っている。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・人家とともに防災拠点となる集会所の保全を図る必要があるため、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おおたにがわ
大谷川
[宍粟市]



計画概略図
縮尺 1 : 5 , 0 0 0

